

(第2面)

④産業廃棄物の一連
の処理の工程

【汚泥】

- ①作業工程で廃棄物発生
- ②集積場所で保管
- ③収集・運搬委託業者へ引き渡し、運搬
- ④処分委託業者で溶融にてリサイクル処理

【廃油】

- ①作業工程で廃棄物発生
- ②集積場所で保管
- ③収集・運搬委託業者へ引き渡し、運搬
- ④処分委託業者で焼却後、残渣をセメント原料にリサイクル処理

【廃酸】

- ①作業工程で廃棄物発生
- ②集積場所で保管
- ③収集・運搬委託業者へ引き渡し、運搬
- ④処分委託業者で焼却・中和にてリサイクル処理

【廃アルカリ】

- ①作業工程で廃棄物発生
- ②集積場所で保管
- ③収集・運搬委託業者へ引き渡し、運搬
- ④処分委託業者で焼却・中和にてリサイクル処理

【廃プラスチック】

- ①作業工程で廃棄物発生
- ②集積場所で保管
- ③収集・運搬委託業者へ引き渡し、運搬
- ④処分委託業者で焼却・固形燃料化にてリサイクル処理

【ガラス陶磁器くず】

- ①作業工程で廃棄物発生
- ②集積場所で保管
- ③収集・運搬委託業者へ引き渡し、運搬
- ④処分委託業者で破砕にてリサイクル処理

全ての廃棄物でゼロエミッション（直接または中間処理後の埋立を行わない）を達成している。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

株式会社 村田製作所 八日市事業所 事業所長

管理部長

環境課長

環境1係

環境2係「廃棄物管理」担当3名

環境3係

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | | |
|-----|---|---------|---|
| ①現状 | 【前年度(平成28年度)実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙.1の通り | |
| | 排出量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) ・廃プラスチックの有価物化による廃棄物量削減 ・紙テープの有価物化による廃棄物量削減 ・排水処理施設更新によるメッキ廃液量削減 ・紙類(機密文書)の有価物化による廃棄物量削減 ・不良製品の削減 ・洗浄工程の改善によるメッキ廃液の削減 ・チャージ量UPによるメッキ廃液の削減 ・部資材のライフUP、小型化 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙.2の通り | |
| | 排出量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) ・排水処理施設における凝集剤変更による汚泥発生量削減 ・不良製品の削減 | | |

産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|-----|--|
| ①現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、 ガラス・陶磁器くず、不良商製品を約60種類に分別して廃棄して いる。 |
|-----|--|

| | |
|-----|--|
| ②計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、金属くず等の分別方法について、全従業員に 周知し、皆が分別に関して理解を深められるようにする。 |
|-----|--|

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

| | | | |
|-----|-----------------------------------|---|---|
| ①現状 | 【前年度（ 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) | | |

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

| | | | |
|---------------|-----------------------------------|---|---|
| ①現状 | 【前年度（ 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 | t | t |
| (これまでに実施した取組) | | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 | t | t |

| | |
|--|---------------|
| | (今後実施する予定の取組) |
|--|---------------|

(第5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

| | | |
|-----|-----------------------------------|--------------------------|
| ①現状 | 【前年度（ 年度）実績】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | t t |
| | (これまでに実施した取組) | |
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | t t |
| | (今後実施する予定の取組) | |

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

| | | |
|-----|--|--------------------------|
| ①現状 | 【前年度（平成28年度）実績】 別紙1.の通り | |
| | 産業廃棄物の種類 | |
| | 全処理委託量 | t t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | t t |
| | 再生利用者への処理委託量 | t t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t t |

| | | | | |
|--|--|--|---|---|
| | | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |
| | | (これまでに実施した取組) ・ゼロエミッション達成のための業者開拓、選定、契約締結。 ・突発的に発生した廃棄物の処理対応、業者協力要請。 | | |

(第6面)

| | | | | |
|--------|--|--|---|---|
| ②計画 | 【目標】 別紙2. の通り | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 全処理委託量 | | t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | | t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | | t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) ・新棟増設に伴う新たな廃棄物に対応するため、保管場所の確保と 委託業者見直しによる保管スペースの有効活用を図る。 | | | |
| ※事務処理欄 | | | | |

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

